

第9回とよたエコライフ賞

- 目的：環境にやさしい『地道』『ユニーク』『身近』な取り組みをしている個人・団体・事業者を表彰し、その取り組みを多くの市民の方に知らせることで、持続可能な循環型社会の実現を目指す。
- 応募期間：平成21年4月15日(水)～平成21年10月30日(金)
- 応募対象：市内に在住・在勤・在学する個人・・・個人の部
市内で活動する団体・・・団体の部
市内に事務所等を有する事業者・・・事業者の部
市内の学校・・・学校の部
- 応募件数：72件（自薦64件、他薦8件）
（区分）
個人の部：56件
団体の部：12件
事業者の部：1件
学校の部：3件
- 審査会：平成22年1月18日(月)午後2時00分～
- 審査項目：①努力度 ②活用度 ③アイデア度 ④地域貢献度 ⑤継続度
⑥先進性 ⑦将来性 ⑧ごみ削減効果 ⑨CO₂削減効果
- 審査委員

審査委員長	寺田 義弘	とよたエコライフ倶楽部 代表
審査員	澤田 恵美子	とよたエコライフ倶楽部 副代表
審査員	加藤 誠	とよたエコライフ倶楽部 副代表
審査員	谷 洋子	とよたエコライフ倶楽部 運営委員長
審査員	山田 恭江	とよたエコライフ倶楽部 運営委員 広報啓発部会（とよたエコライフ賞） 部会長
審査員	池本 寿罔	広報啓発部会（とよたエコライフ賞） 委員
審査員	鈴木 康予	広報啓発部会（とよたエコライフ賞） 委員
審査員	加藤 ナヲ子	広報啓発部会（とよたエコライフ賞） 委員
審査員	小出 勝	広報啓発部会（とよたエコライフ賞） 委員

- 審査結果：22件（個人10件・団体8件・事業者1件・学校3件）
（受賞者）

第9回とよたエコライフ賞受賞者一覧

受賞者	活動の概要
とよたエコライフ大賞…1件	
松平中学校	生徒が自主的に分別作業や資源回収を開始し、各教室での取り組みや授業での取り組み等、各活動へと発展し、活発になってきている。
審査委員長賞…1件	
生活クラブ生活協同組合・愛知（豊田センター）	リターナブルビンの取り組みを15年以上継続したり、今年度は環境ブック「eco 本」を作成するなど多くの人々を巻き込んで活動している。
優秀賞…15件	
青山 初美	太陽光発電により自宅の電気を賄ったり、雨水タンクにより雨水を活用している。
赤崎 とよ子	傘の布地を使って自転車カバーや足カバー等を作り、欲しい人にあげている。ペットボトルの蓋やプルトップも集めてから欲しい人に渡している。
川口 則子	生ゴミを畑に埋めたり、ゴミステーションの雑草取りを行うなど、日々エコ活動を実行。
倉田 富夫	伐採木の有効活用のため炭焼窯を作り、炭の有効活用のため炭コタツ等を作り、子供たちの体験学習の場としても提供活用。
篠原 康順	雨水を溜めるためにタンクを創作して野菜作りの水遣りに利用。知人宅にも波及し、水資源を有効利用している。
築山 みね子	古着やネクタイを再利用し、様々な物を産生している。交流館活動やくらし展等で作品や作り方を提供している。
中新 志乃舞	いらなくなった洋服等をリサイクルし、作品を地域の人々に渡しリサイクル・リユース精神を浸透させている。環境講座での指導も行っている。
おだまきの会	遊休農地で、自分たちで作ったEMボカシ肥料を利用して農作物を栽培している。また、機関紙「おだまき」を毎月自治区各戸に配布。
ガーデニング花くらぶ	会員17名でリサイクル土を利用した花壇に花を咲かせている。講座等も行い、地域の人の家庭から出る生ゴミ減量の堆肥作りを進めている。
猿投北交流館	地域のボランティアグループと協力し、「ほたるまつり」を企画した。地域一体となって川の浄化活動に取り組み、自然を守っている。
末野原地区コミュニティ会議 環境委員会	交流館ふれあいまつりで、徹底した分別によるゴミの削減を目指して企画運営。地域住民の意識を向上することもできた。
のっぽの会	花や緑を増やすと共に、親子エコチャレンジやミニエコパーティー等イベントも開催。
旭洋電設有限会社	「電気に携わった仕事をしている立場」からできることを考え、ポータブル太陽光発電機を製作。エネルギー環境学習を普及することができた。
寺部小学校	アフリカの子供たちにワクチンを送るためアルミ缶のプルトップを回収。パンフレットを作成し地域住民に配布したり回覧板で宣伝を行っている。
東部こども園	環境絵本を読み聞かせたり、「エコだより」等を配布し、家庭へもエコ意識を啓発。
審査員特別賞…5件	
上野 恵美	マイ箸を周りにも広めようと、プレゼントとして渡すように。子供たちも喜んでいる。
中島 健	父子でトングを持ってゴミを拾いながら散歩をし街の美化活動をしている。
平山家	電灯を省エネしたりエアコンを撤去する等、家族一丸となってエコライフをしている。
とよた下町おかみさん会	特に多い「タバコの吸殻」を減らすよう、クリーンアップ活動を続けている。
ふれあいサロン ゆう遊会	4年間、資源の大切さを学ぶため様々な物作りを行っている。